

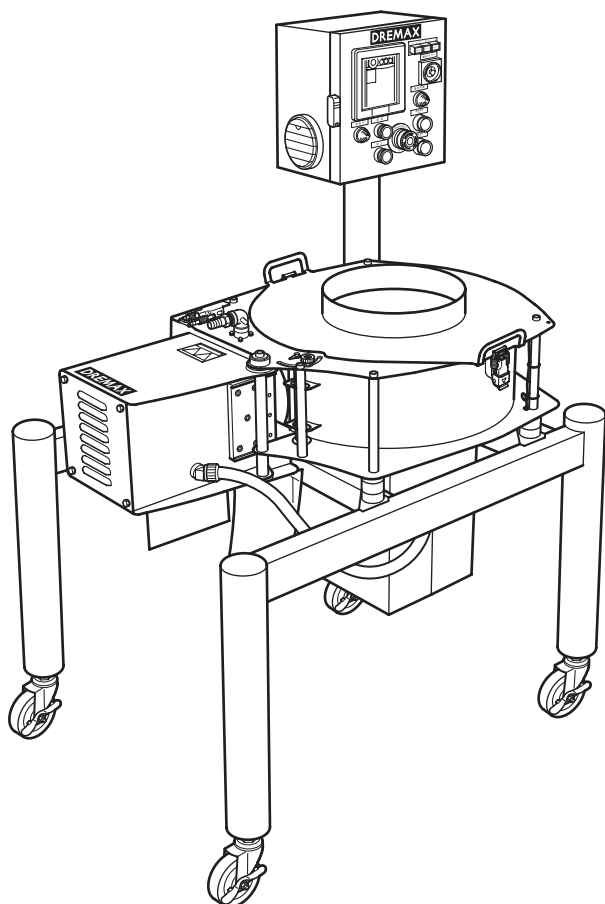
スーパースライサー S F-2000S

スーパーダイサー F-2000D

取扱説明書

もくじ

安全上のご注意	1
各部のなまえ	3
正しい使い方 (F-2000S)	5
非常停止ボタンについて (共通)	6
正しい使い方 (F-2000D)	7
エラー表示について (共通)	9
回転盤と回転刃の速度調整 (共通)	9
刃物の交換	10
丸刃の交換 (F-2000S)	10
クシ刃ブロックの交換 (共通)	11
丸刃・ダイス刃ブロックの交換 (F-2000D)	13
クシ刃の交換 (共通)	15
ダイス刃の交換 (F-2000D)	15
お手入れ方法	16
仕 様	裏表紙
アフターサービス	裏表紙
愛情点検	裏表紙
保 証 書	裏表紙



- このたびは、**DREMAX** 製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- 製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分にご理解ください。
- 取扱説明書で使用しているイラストは実際の製品と異なる場合があります。
- 本書は、**F-2000S**、**F-2000D** 共通の取扱説明書です。共通の内容には **F-2000S** のイラストを使用しています。
どちらか一方に固有の内容には、機種名を明記しています。
- 取扱説明書はお読みになられた後、いつでもお手元においてご使用ください。
- 保証書は取扱説明書の裏表紙に記載しております。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

安全上のご注意

- ご使用になる前に内容をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。
- 注意の指示と意味は以下のようになっています。

 警告	誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると人が傷害を負ったり物的損害※の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

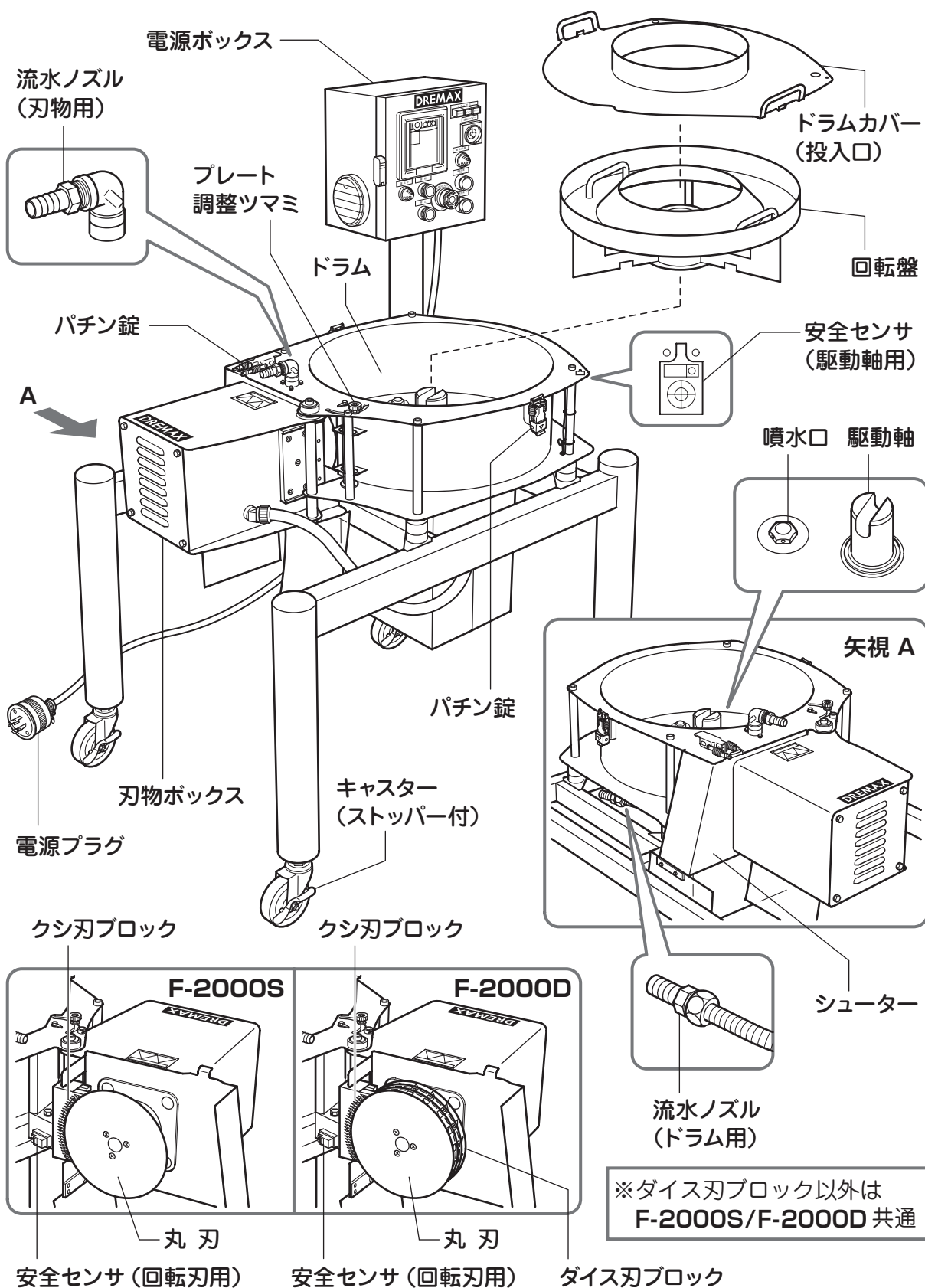
図記号の例

 刃物注意	△は、注意（警告を含む）を示します。具体的な注意事項は、△の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は "刃物注意" を示します。
 分解禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は "分解禁止" を示します。
 プラグを抜く	●は、強制（必ずやること）を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。左図の場合は "プラグを抜くこと" を示します。

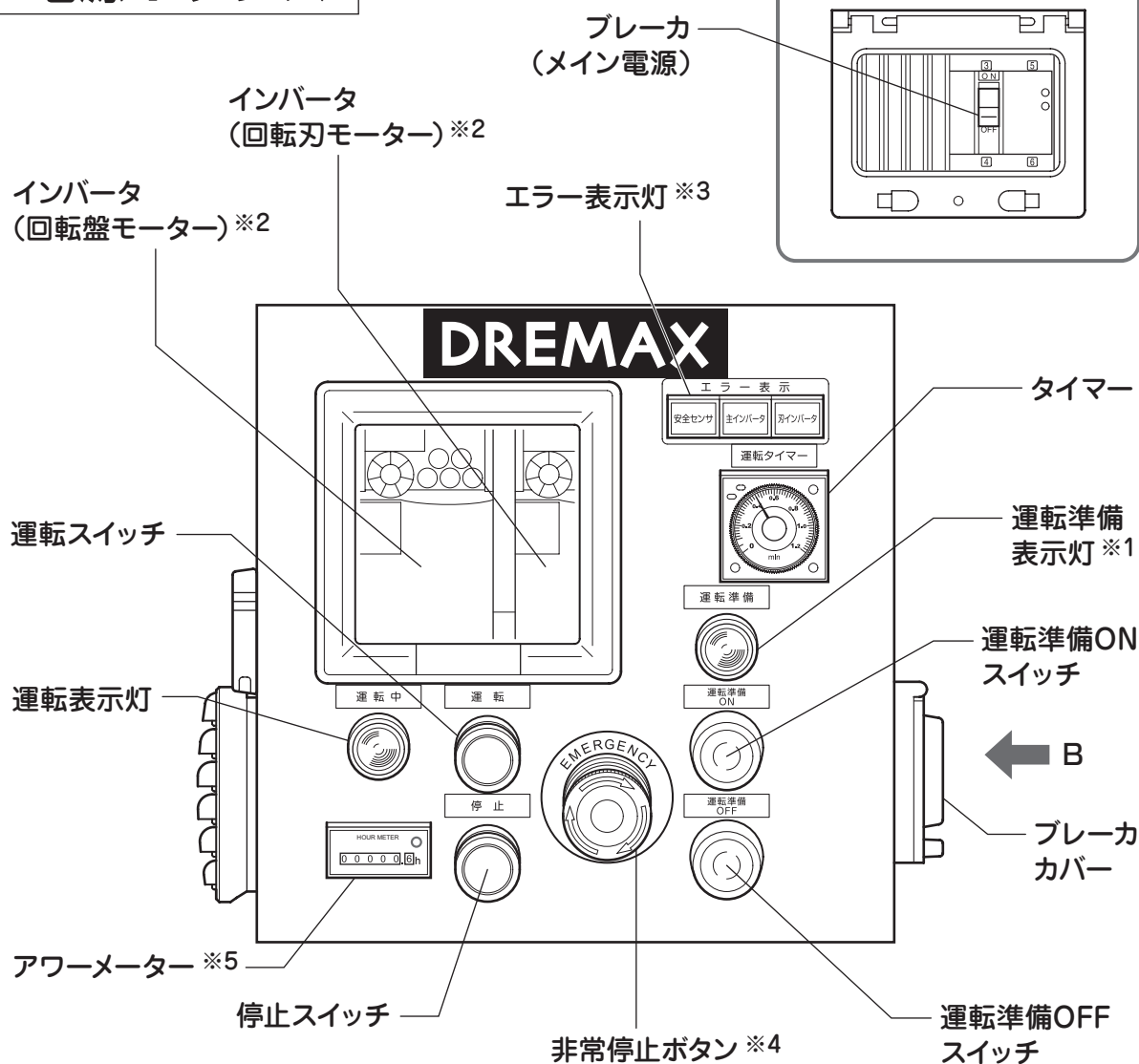
 警 告		
 分解禁止	修理技術者以外は、絶対に修理・改造をしないでください。	火災・感電・けがの原因になります。
 回転物注意	運転中は可動部に手を近づけないでください。 また、髪、エプロン、洋服などが巻き込まれないよう十分に注意してください。	けがの原因になります。
 強 制	必ず、運転前にドラム内に異物が入っていないことを確認してください。	刃物の破損や機械の故障の原因になります。
 強 制	必ず、作業の開始前と終了時に刃物の状態を確認してください。万一作業中に刃が欠けた場合は、食材をすべて捨ててください。	けがの原因になります。
 刃物注意	刃物に直接手を触れないでください。	けがの原因になります。
 水掛け禁止	電源コードを水につけたり、電源ボックスに水をかけないでください。	ショート・感電・故障の原因になります。
 禁 止	子どもに使用させないでください。 また、作業中に子どもを近づけないでください。	けが・感電をする恐れがあります。

 注 意		
 強 制	不安定なところでは使用しないでください。必ず平らな場所に設置し、キャスターのストッパーをロックしてください。	機械の転倒による破損やけがの原因になります。
 禁 止	運転中に本体を移動させないでください。	機械の転倒による破損やけがの原因になります。
 プラグを持つ	電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端のプラグを持って引き抜いてください。	ショートや感電して発火する恐れがあります。
 禁 止	電源コードをキズつけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引き抜いたりしないでください。また、電源コードに重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。	電源コードの破損による感電・火災の原因になります。
 スイッチを切る	電源プラグの抜き差しは、メイン電源が「OFF」であることを確認してからおこなってください。	故障やけがの原因になります。
 禁 止	電源コードが傷んでいたり、電源プラグのコンセントへの差し込みがゆるい場合は、使用しないでください。	ショート・感電・発火の原因になります。
 プラグを抜く	ご使用の時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。	絶縁劣化による感電・漏電・火災・けがや火傷の原因になります。

各部のなまえ



電源ボックス



- ※1: 運転準備 ON スwitchを押しても点灯しない場合は、以下のような原因が考えられます。
- ブレーカ (メイン電源) が **OFF** になっている。[ブレーカ (メイン電源) を **ON** にしてください。]
 - 非常停止ボタンが押されてロックされている。[非常停止ボタンを解除してください。]
 - インバータトリップ (電流が遮断) している。[付属のインバータ取扱説明書をお読みください。]
- ※2: 回転盤および回転刀の回転速度を調節することができます。[9ページを参照してください。]
- ※3: エラーが発生したときに該当するランプが点灯します。[9ページを参照してください。]
- ※4: 緊急事態が発生したときに機械を強制的に停止させます。[6ページを参照してください。]
- ※5: 時間計です。機械が作動している間だけメーターが進みます。(作動時間の累計)
消耗品や劣化部品の交換やメンテナンスの目安にご利用ください。

正しい使い方 (F-2000S)

※ 本機を初めて使用する場合は、ご使用になる前に必ず「お手入れ方法」を参照して清掃してからお使いください。

警告

- 必ず、運転前にドラム内に異物が入っていないことを確認してから作業をおこなってください。異物が入ったまま運転すると、クシ刃、丸刃の破損や機械の故障の原因になります。
- 必ず、作業前と作業後にクシ刃、丸刃に刃こぼれがないかを確認してください。万一、作業中や作業後に刃こぼれを発見した場合は、カットした食材をすべて捨ててください。

1 大根は頭とヘタを落として皮を剥いてください。また、回転盤に入れ難いような大きい大根は、あらかじめ半分に横切りにしてください。

2 水道のホースを刃物ボックス近くの流水ノズル(刃物用)とドラム下の流水ノズル(ドラム用)に繋げてください。

3 電源プラグをコンセントに差し込みます。

◎ プレーカ(メイン電源)が「OFF」であることを確認してから差し込んでください。

4 シューターの下にカットした食材を受け取る容器を置きます。

◎ 短時間で大量の食材を処理しますので、大きめの容器を用意してください。

5 大根を回転盤の3ヶ所に各2本ずつ揃えて入れます。

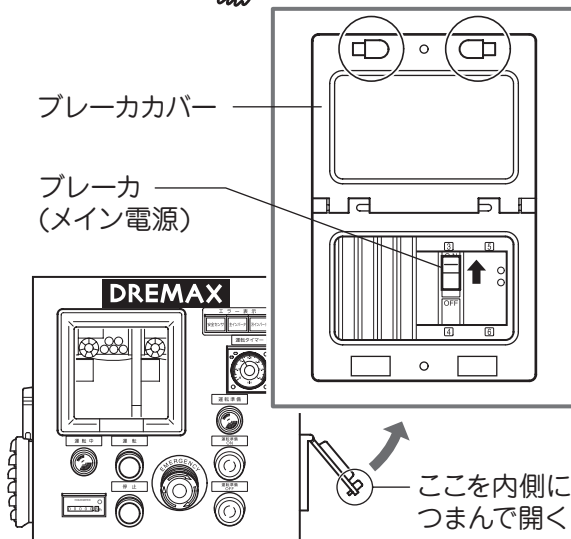
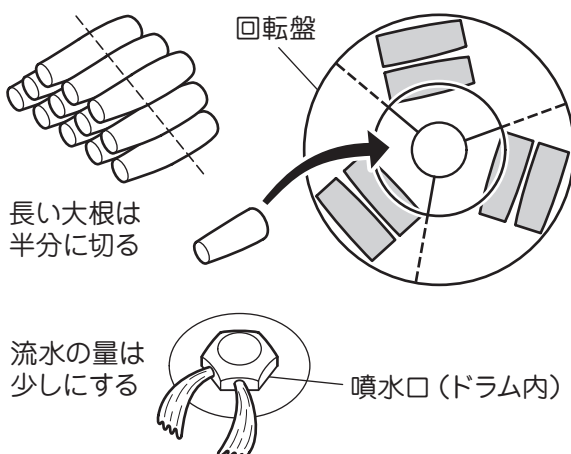
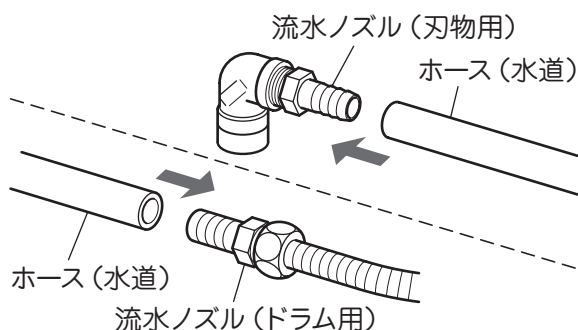
6 水を流してください。

◎ 流水は少量で十分です。水量が多すぎると、運転中に回転の勢いで本体の外に水が飛び散ってしまいます。

7 ドラムカバー(投入口)と刃物ボックスが正しく装着されて、パチン錠がしっかりと掛けられていることを確認してください。

◎ 装着の不備や開放状態では運転できません。(エラー表示灯が点灯：9ページ参照)

8 プレーカカバーを開き、プレーカ(メイン電源)を「ON」にします。



9 運転準備 ON スイッチを押します。

- ◎ 運転準備表示灯が点灯します。
(点灯しない場合：4 ページ※ 1 を参照)

10 タイマーをセットします。

- ◎ 運転開始から停止までの時間をセットします。
- ◎ 回転盤の 3 ヶ所に入れた大根の最後の 1 本が半分残って止まるようにセットしてください。
(約 10 秒を目安に、大根の太さによって設定時間を調節してください。)

11 運転スイッチを押します。

- ◎ タイマーの時間だけ機械が作動し、シューターからツマが出てきます。
- ◎ 作動中、運転表示灯が点灯します。

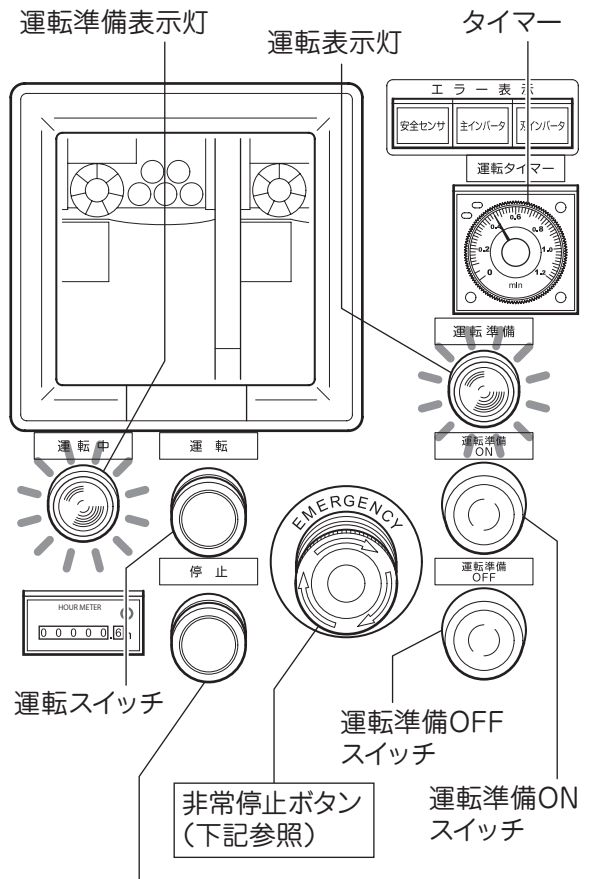
12 大根を「入れる」→運転スイッチを「押す」を繰り返してください。

警告

回転盤が回っているときは絶対に大根を投入しないでください。きちんと入らないだけでなく、手や衣類等の巻き込み事故の原因になります。

13 作業が終わったら、運転準備 OFF スイッチを押します。

- ◎ 運転準備表示灯が消えます。
- ◎ 必要に応じてブレーカ(メイン電源)を「OFF」にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。



停止スイッチの使い方：

作動中(回転盤・丸刃の回転中)に途中で停止させるときに押します。

- ◎ 回転盤・丸刃は減速しながら停止します。
- ◎ 運転を再開するときは、運転スイッチを押してください。

非常停止ボタンについて (F-2000S/F-2000D 共通)

- 緊急事態が発生した場合に押してください。
 - ◎ 非常停止ボタンは赤色に点灯してロックされます。
 - ◎ すべての運転ができなくなります。
- 非常停止を解除する場合は、ボタンに記されている矢印の方向(時計方向)に軽く回してください。
- 高速回転中の停止は、惰性でしばらく回ります。絶対に手を入れないでください。
- 運転を再開するときは運転準備 ON スイッチを押してください。



注意

- 緊急の場合以外は非常停止ボタンを押さないでください。

正しい使い方 (F-2000D)

※ 本機を初めて使用する場合は、ご使用になる前に必ず「お手入れ方法」を参照して清掃してからお使いください。

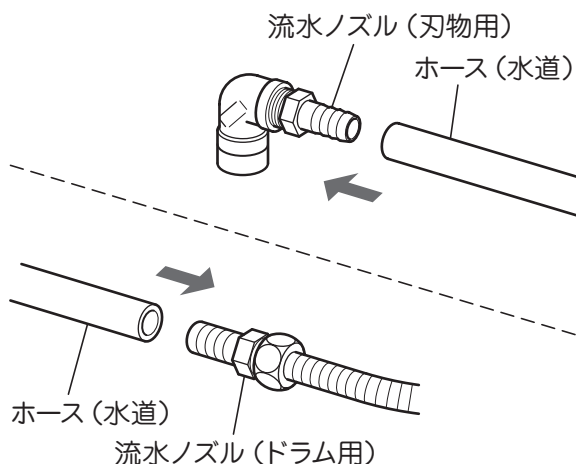
警告

- 必ず、運転前に**ドラム内に異物が入っていない**ことを確認してから作業をおこなってください。異物が入ったまま運転すると、クシ刃、丸刃、ダイス刃の破損や機械の故障の原因になります。
- 必ず、作業前と作業後に**クシ刃、丸刃、ダイス刃に刃こぼれがないか**を確認してください。万一、作業中や作業後に刃こぼれを発見した場合は、カットした食材をすべて捨ててください。

1 食材（生姜、ニンニク、玉葱、人参、キャベツ、白菜、大根、ゴボウ、ワサビ等）を用意します。

- ◎ ヘタを落とす、皮をむくなどの前処理を食材に応じておこなってください。
- ◎ キャベツ、白菜、大根など、大きな食材は投入口に入る大きさにあらかじめ切ってください。

2 水道のホースを刃物ボックス近くの流水ノズル（刃物用）とドラム下の流水ノズル（ドラム用）に繋げてください。

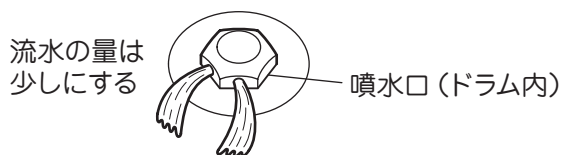


3 電源プラグをコンセントに差し込みます。

- ◎ プレーカ（メイン電源）が「OFF」であることを確認してから差し込んでください。

4 シューターの下にカットした食材を受け取る容器を置きます。

- ◎ 短時間で大量の食材を処理しますので、大きめの容器を用意してください。



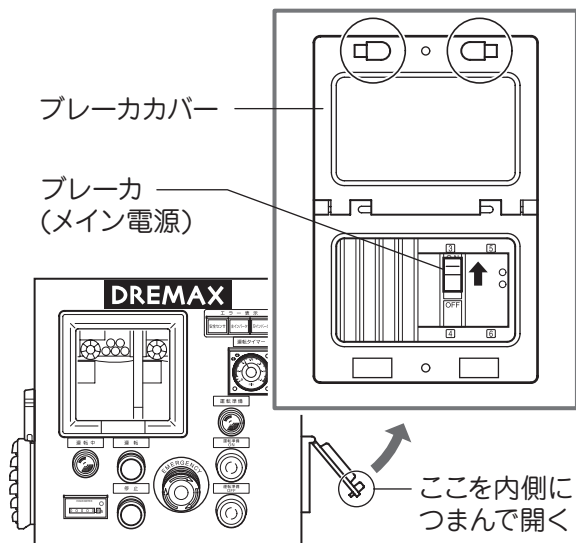
5 水を流してください。

- ◎ 流水は少量で十分です。水量が多すぎると、運転中に回転の勢いで本体の外に水が飛び散ってしまいます。
- ◎ 食材によっては、水を流さない方がよい場合（水っぽくなる等）があります。食材に応じて判断してください。

6 ドラムカバー（投入口）と刃物ボックスが正しく装着されて、パチン錠がしっかりと掛けられていることを確認してください。

- ◎ 装着の不備や開放状態では運転できません。（エラー表示灯が点灯：9ページ参照）

7 プレーカカバーを開き、プレーカ（メイン電源）を「ON」にします。



8 運転準備 ON スイッチを押します。

- ◎運転準備表示灯が点灯します。
(点灯しない場合：4 ページ※1 を参照)

9 運転スイッチを押します。

- ◎ 運転表示灯が点灯し、タイマーの設定時間だけ機械が作動します。

タイマーについて：

運転時間を設定することができます。

当製品の納品時に設定しますので、通常お使いになるときに設定する必要はありません。

設定変更の詳細は、販売店にご相談ください。

10 投入口から食材を入れてください。

- ◎ カットされた食材がシューターから出てきます。
- ◎ 作業中にタイマーが切れて機械が停止した場合は、運転スイッチを押してください。

11 ドラム内の食材の残量を確認しながら、食材を追加投入してください。

注意

- 一度に大量の食材を入れると運転できない場合があります。
- 長時間作業する場合は、3～4時間の運転に対し、約1時間休止させてください。

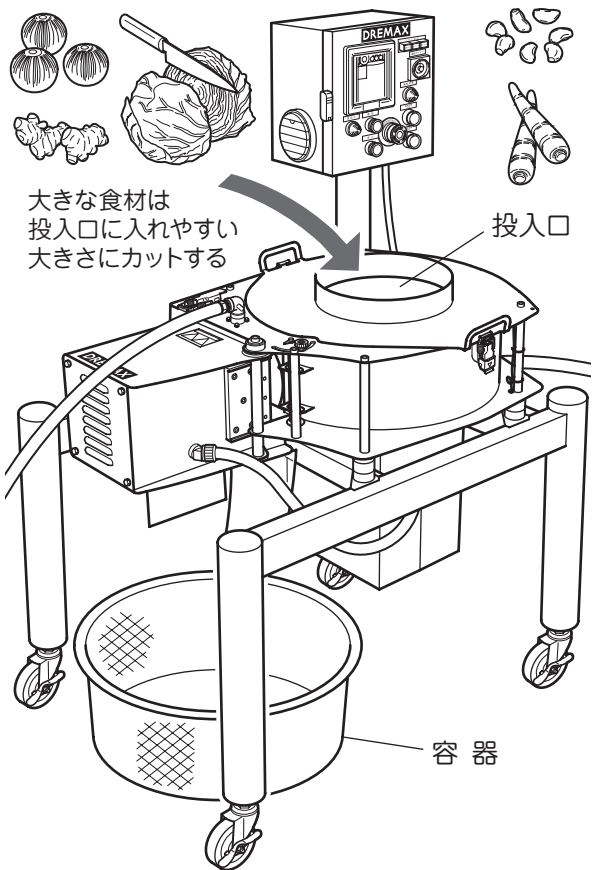
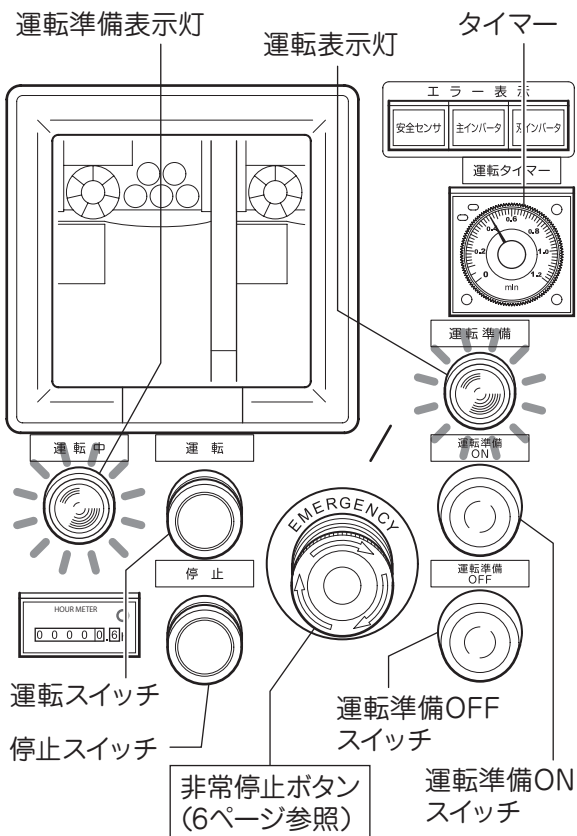
機械に過度の負荷がかかるとエラー表示灯が点灯します。そのまま運転を続けると故障の原因になります。(9ページ参照)

12 作業が終わったら、停止スイッチを押します。

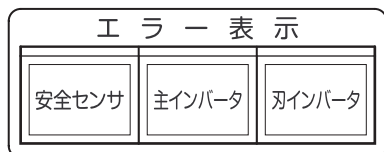
- ◎ 運転表示灯が消灯し、回転盤が減速しながら停止します。
- ◎ 電源は入っています（運転準備表示灯は点灯しています）ので、ここから運転を再開するときは運転スイッチを押してください。

13 運転準備 OFF スイッチを押します。

- ◎ 運転準備表示灯が消えます。
- ◎ 必要に応じてブレーカ(メイン電源)を「**OFF**」にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。



エラー表示灯について (F-2000S/F-2000D 共通)



下表をお読みにになり【対策】を施した後、電源を再投入してもエラー表示灯が消えない（破損や故障と思われる）場合は、点検、修理が必要となります。
最終ページの「アフターサービス」「保証書」をご確認の上、販売店にご相談ください。

	安全センサ：点灯	主インバータ：点灯	刃インバータ：点灯
原因	1. 刃物ボックスが開放状態または正しく閉じられていない。 2. ドラムカバーが未装着または正しくセットされていない。	1. 一度に多くの食材を投入したため、回転盤を回すモーターに大きな負荷がかかった。 2. 長時間の連続使用で、回転盤を回すモーターに過度の負荷がかかった。 3. インバータトリップ	1. 一度に多くの食材を投入したため、丸刃を回すモーターに大きな負荷がかかった。 2. 長時間の連続使用で、丸刃を回すモーターに過度の負荷がかかった。 3. インバータトリップ
対策	1. 刃物ボックスを正しく閉じて、パチン錠をきちんと掛けてください。 2. ドラムカバーを正しく装着して、パチン錠をきちんと掛けてください。（本体の赤矢印にドラムカバーの赤矢印を合わせて装着します。） ※ 電源再投入で復帰しない場合、センサあるいは機械の故障が考えられます。	1. 投入する食材の処理量を減らしてください。 2. ブレーカ（メイン電源）を切り、コンセントから電源プラグを抜いて30分程度ご使用を休止して、電源を再投入してください。 3. 付属のインバータ説明書をお読みください。 ※ 電源再投入で復帰しない場合、インバータあるいは機械の故障が考えられます。 ※ 食材を入れていない（無負荷）状態でも点灯する場合は、機械の故障が考えられます。	

回転盤と回転刃の速度調整 (F-2000S/F-2000D 共通)

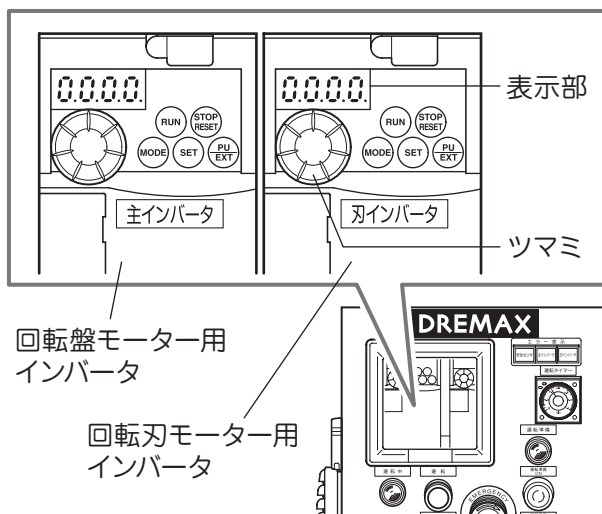
回転盤モーターおよび回転刃モーターの回転速度を調節することができます。

- 電源ボックスの中にあるインバータのツマミを回してモーターの回転速度を調節します。

右に回すと表示部の数値が大きくなり回転が速くなります。

左に回すと表示部の数値が小さくなり回転が遅くなります。

- ※ 当製品の納品時に設定をしますので、通常お使いになるときに設定する必要はありません。



刃物の交換

この項では、丸刃、クシ刃ブロック、ダイス刃ブロックの交換、さらにクシ刃、ダイス刃の交換方法を説明しています。正しく交換していただくために、必ずお読みください。

なお、交換の際の取り付け不備、組み立て不良、取り扱い不備による事故、損傷については当社では一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

— 交換作業の前に —

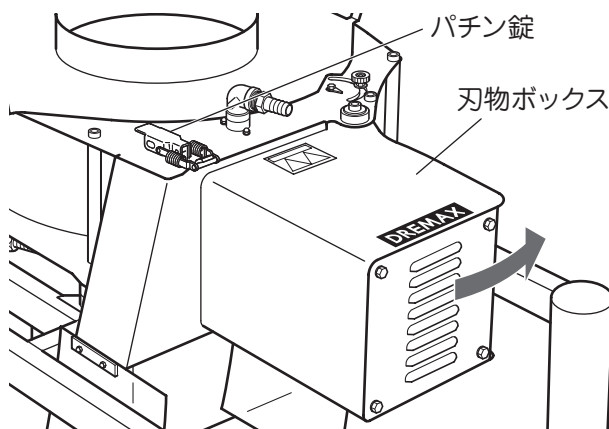
- 付属のレンチの他に、+ドライバー、スパナ、ラジオペンチ等の工具を用意してください。

⚠ 警告

- 必ず、コンセントから電源プラグを抜いて交換作業をおこなってください。
- 丸刃、クシ刃は鋭利な刃物です。けがをしないよう十分に注意してください。

丸刃の交換 (F-2000S)

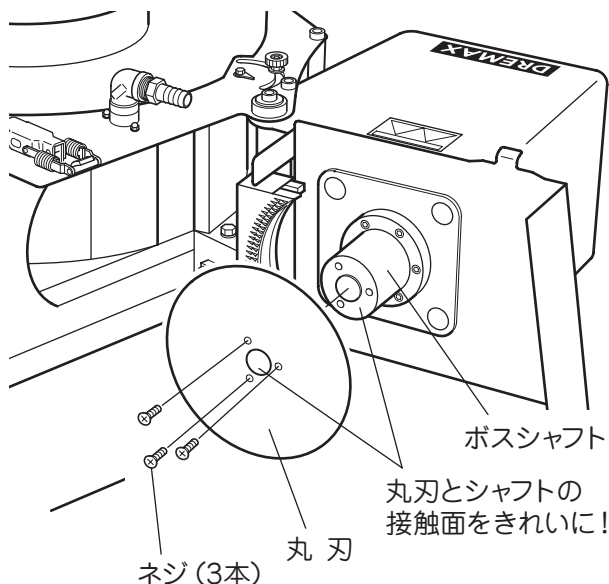
- 1** 刃物ボックスを固定しているパチン錠を解除して、矢印の方向に回転させて開いてください。



- 2** ネジ3本をはずして丸刃を交換し、はずしたネジ3本を締め付けて固定してください。

重 要

丸刃を取り付ける際、丸刃とボスシャフトの接触面をきれいにしてください。汚れや小さなゴミが挟まただけでも丸刃が回転中にブレを起こしてしまいます。また、3本のネジは均等に締め付けて、しっかりと固定してください。

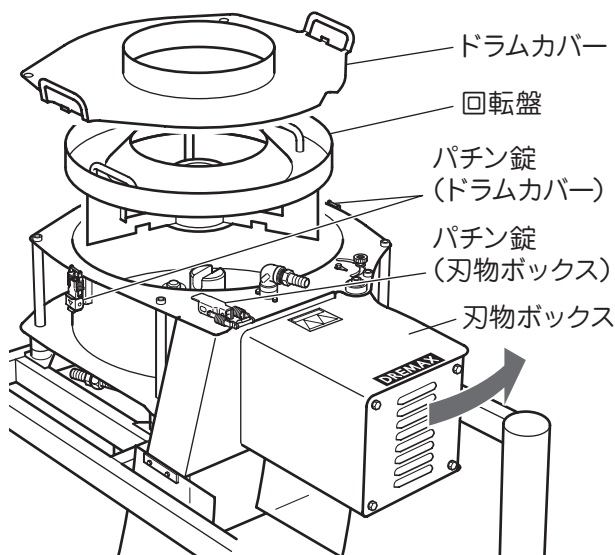


- 3** 刃物ボックスを元の位置に戻して、パチン錠を掛けてください。

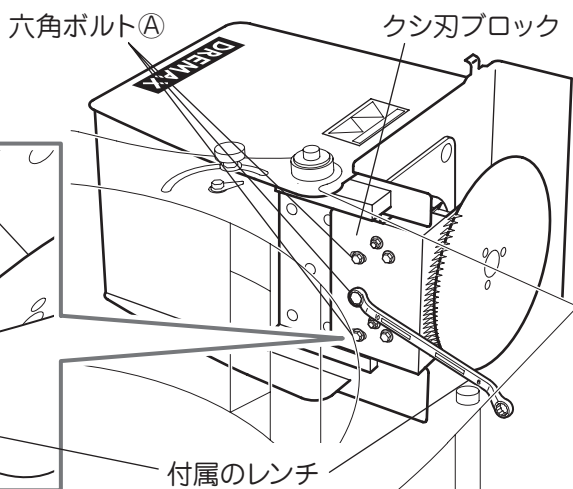
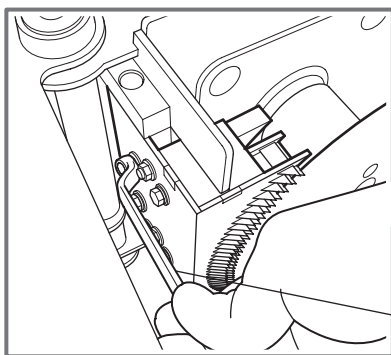
クシ刃ブロックの交換 (F-2000S/F-2000D 共通)

1 ドラムカバーを固定しているパチン錠を解除して、ドラムカバーと回転盤をはずしてください。

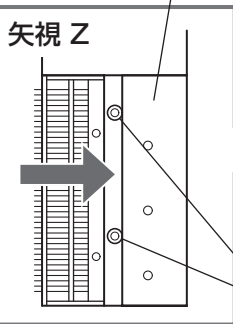
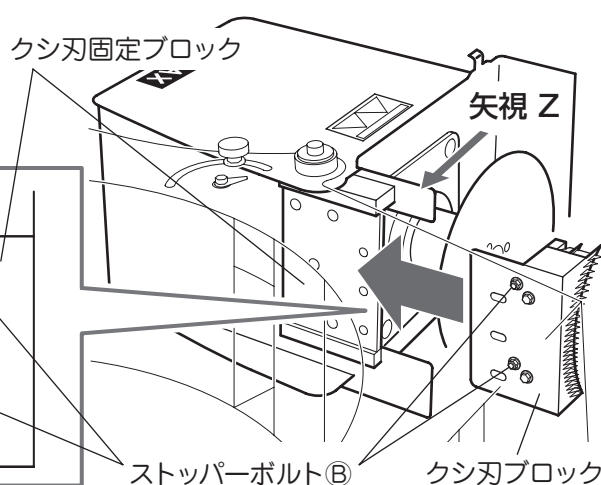
2 刃物ボックスを固定しているパチン錠を解除して、矢印の方向に回転させて開いてください。



3 ドラムと刃物ボックスの間から付属のレンチ(10mm 側)を差し込み、クシ刃ブロックを締め付けている六角ボルト①3本をはずしてクシ刃ブロックをはずしてください。



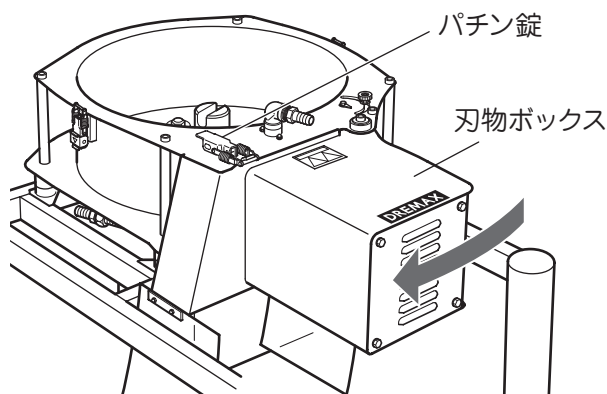
4 交換用クシ刃ブロックのストッパーボルト②とクシ刃固定ブロックに隙間が無いように強く押し当てた状態で、③ではずした六角ボルト①3本を締め付けてください。



重 要

取り付けたクシ刃ブロックがガタつかないように、3本のボルトは均等に締め付けて、しっかりと固定してください。

- 5** 刃物ボックスを回転させて元の位置に戻し、パチン錠で固定してください。



- 6** プレート調整ツマミを緩めてください。

◎ プレート調整ツマミはネジ式です。
ツマミを回して緩めてください。

- 7** プレート調整ツマミを動かして、クシ刃ブロックと調整プレートに段差が付かないように調整してください。

◎ 目盛りの小さい方に動かすとプレートは前に移動します。
目盛りの大きい方に動かすとプレートは奥に移動します。

※ 目視だけで判断するのではなく、指先や爪の先で触って段差を感じられないくらいまでに調整してください。

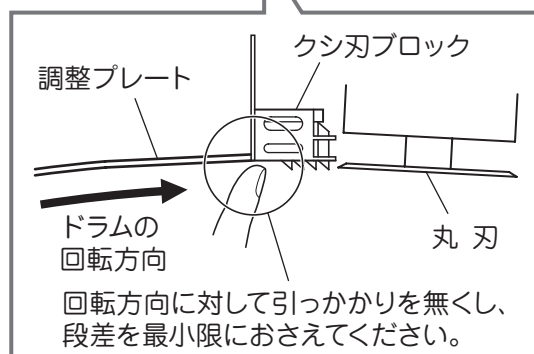
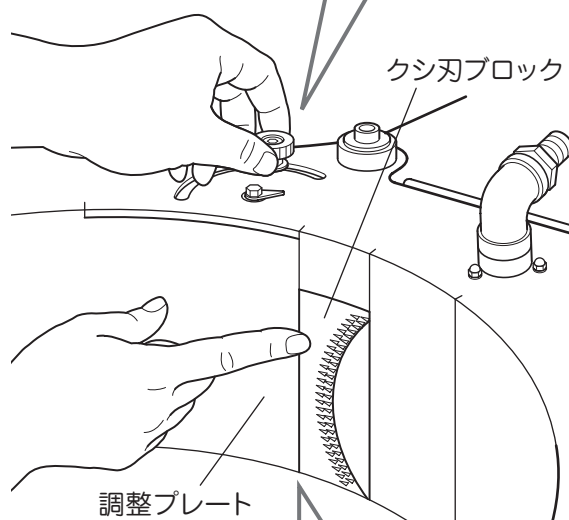
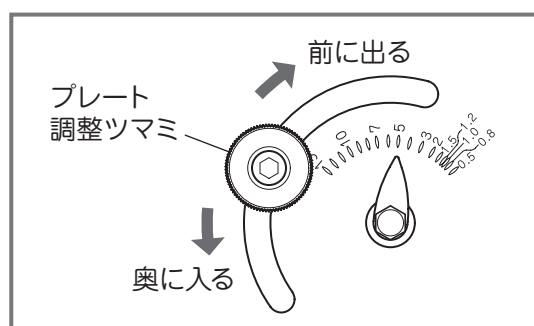
重 要

段差がある状態で使用すると、きれいな仕上がりにカットされません。
調整は丁寧におこなってください。

- 8** **6** プレート調整ツマミ締め付けて固定してください。

- 9** 回転盤をドラムにセットし、ドラムカバーを載せてパチン錠で固定してください。

※ クシ刃の付いていないスライス用のブロックを取り付ける場合も手順は同じです。

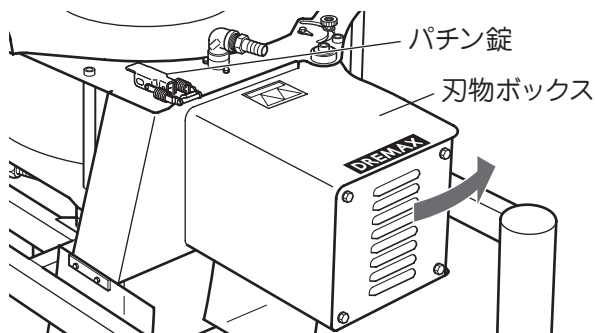


回転方向に対して引っかかりを無くし、段差を最小限におさえてください。

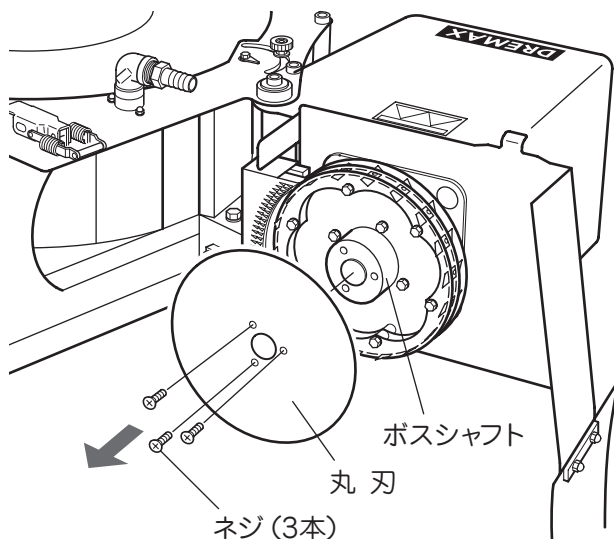
丸刃・ダイス刃ブロックの交換 (F-2000D)

※ここでは「丸刃」と「ダイス刃ブロック」の両方を交換していますが、どちらか一方を交換する場合も同じ手順でおこなってください。

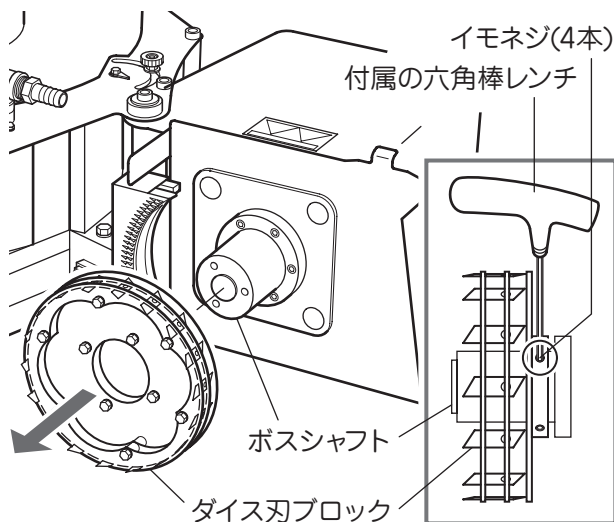
- 1** 刃物ボックスを固定しているパチン錠を解除して、矢印の方向に回転させて開いてください。



- 2** ネジ3本をはずし、丸刃をはずしてください。



- 3** ダイス刃ブロックを固定しているイモネジ4本をゆるめて、ボスシャフトからダイス刃ブロックをはずしてください。

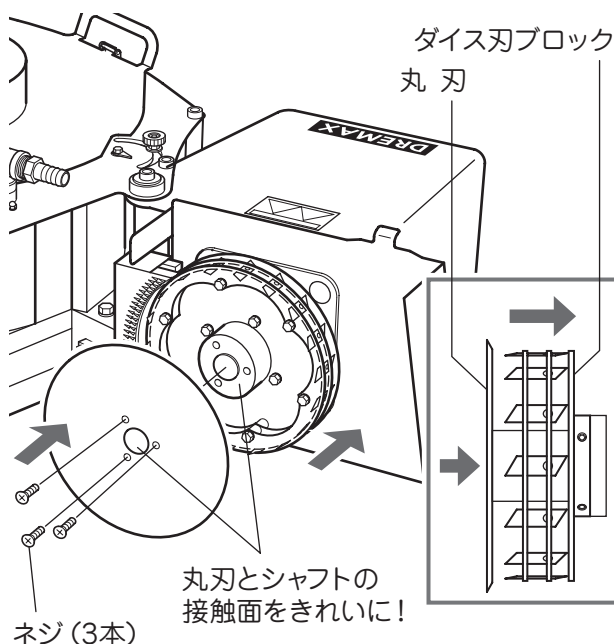


- 4** 交換用のダイス刃ブロックをボスシャフトに取り付け、奥まで（刃物ボックス側）押し込んでください。

- 5** 交換用の丸刃をボスシャフトに取り付け、**2** ではずしたネジ3本で締め付けてください。

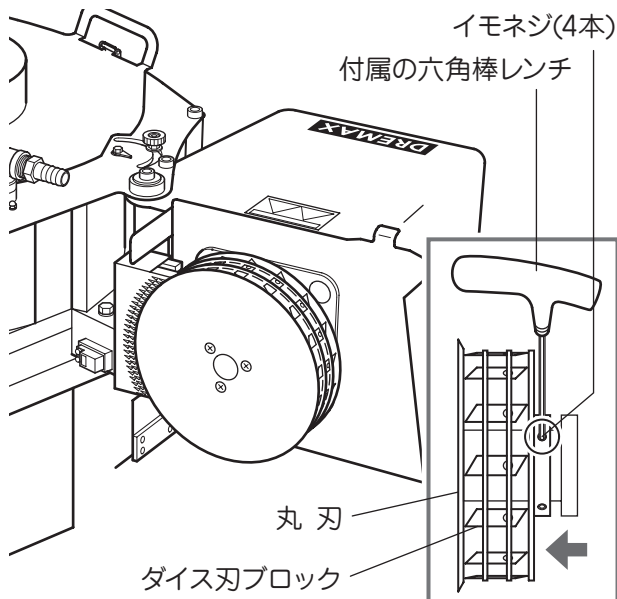
重 要

丸刃を取り付ける際、丸刃とボスシャフトの接触面をきれいにしてください。汚れや小さなゴミが挟まっただけでも丸刃が回転中にブレを起こしてしまいます。また、3本のネジは均等に締め付けて、しっかりと固定してください。



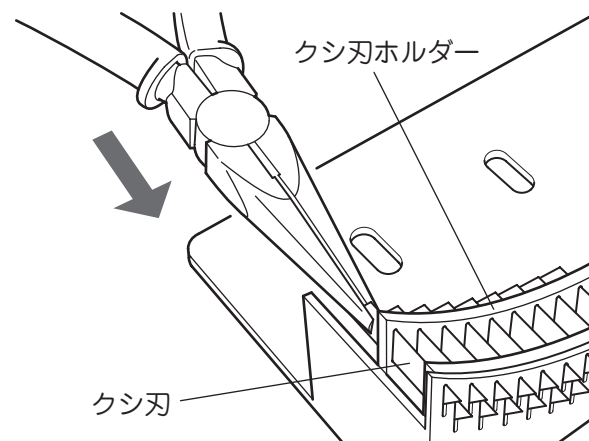
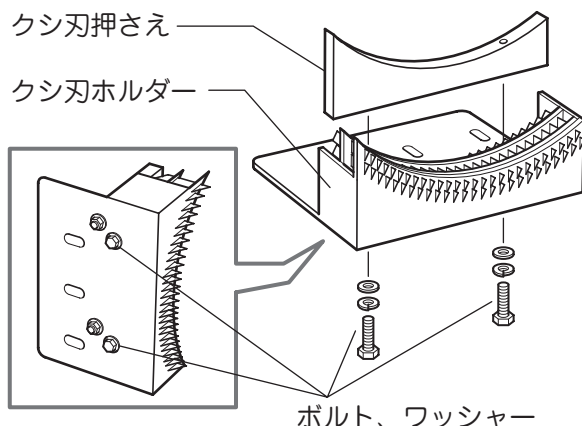
- 6** ダイス刃が丸刃に軽く接触するようにダイス刃ブロックを丸刃側にスライドさせて、イモネジ4本を均等に締め付け、しっかりと固定してください。

- 7** 刃物ボックスを回転させて閉じ、パチン錠をかけて固定してください。



クシ刃の交換方法 (F-2000S/F-2000D 共通)

◎クシ刃ブロックのはずし方・取り付け方は、11～12 ページ【クシ刃ブロックの交換】を参照してください。



1 クシ刃押さえを固定しているボルト、ワッシャーをはずし、クシ刃押さえを取りはずしてください。

2 ラジオペンチ等でクシ刃を引き抜き、クシ刃ホルダーに付着した食材や汚れをきれいに取り除いて、新しいクシ刃を差し込んでください。

重 要

クシ刃は薄い刃物ですので、折らないように慎重に交換してください。

3 クシ刃押さえを元の位置に戻し、**1**ではずしたボルト、ワッシャーを締め付けて固定してください。

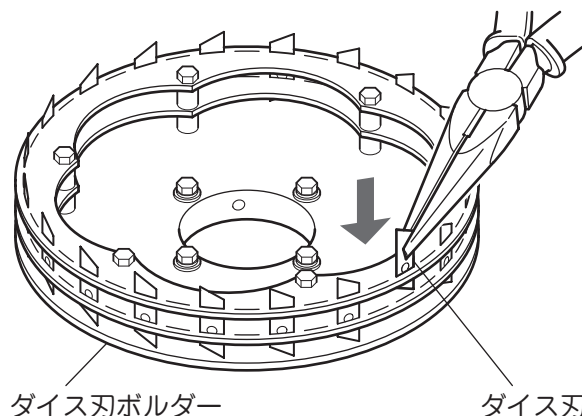
ダイス刃の交換方法 (F-2000D)

◎ダイス刃ブロックのはずし方・取り付け方は、13～14 ページ【丸刃・ダイス刃ブロックの交換】を参照してください。

■ラジオペンチ等でダイス刃を引き抜き、ダイス刃ホルダーに付着した食材や汚れをきれいに取り除いて、新しいダイス刃を差し込んでください。

重 要

ダイス刃は薄い刃物ですので、折らないように慎重に交換してください。



お手入れ方法

ご使用後は、付着した食材が乾いてこびりつく前によく洗浄して取り除いてください。
洗い残しが故障の原因になることがあります。

- 1** ブレーカ(メイン電源)を「OFF」にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 2** ドラムカバーを固定しているパチン錠を解除して、ドラムカバーと回転盤をはずしてください。
- 3** 刃物ボックスを固定しているパチン錠を解除して、矢印の方向に回転させて開いてください。
- 4** 刃物や、その周辺をホースで水掛洗いしてください。

◎水掛だけで汚れが落ちない場合は、刃物ボックスから刃物をはずしてブラシ等を使って洗ってください。
はずし方・取り付け方は10～15ページの【刃物の交換】を参照してください。

注意

刃物ボックスの背面から水が入らないように注意してください。故障の原因になります。

警告

丸刃、クシ刃、ダイス刃は鋭利な刃物で作られています。けがをしないよう十分に注意してください。

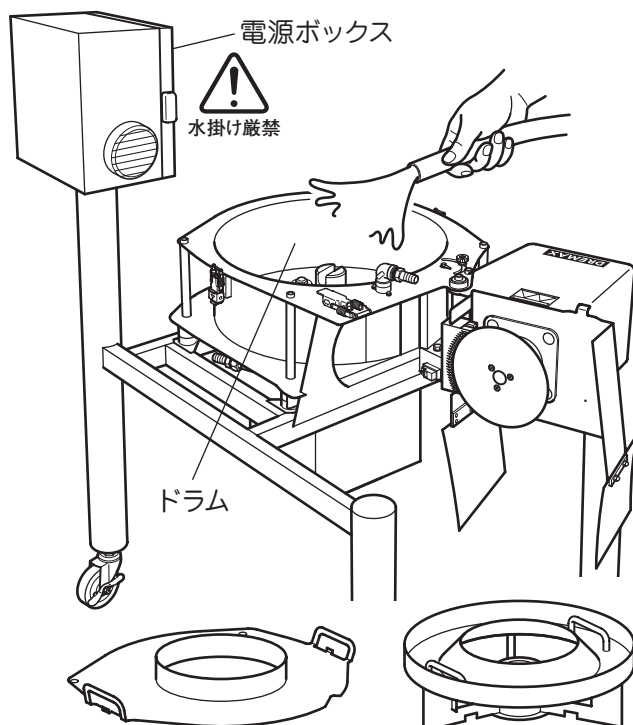
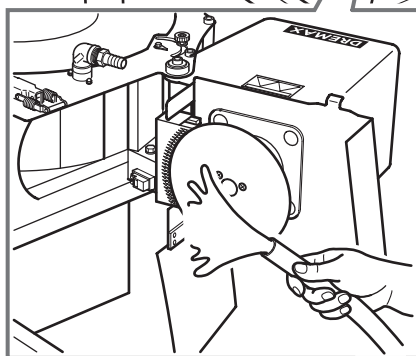
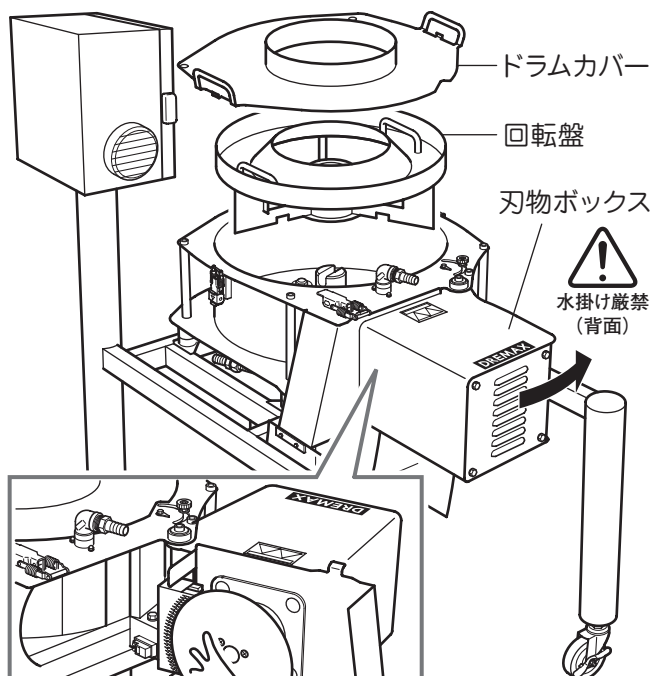
- 5** ドラムカバー、回転盤、ドラム内、シューター内をホースで水掛洗いしてください。
- 6** 本体を乾いた布等できれいに拭き取ってください。

注意

電源ボックスやモーター部に直接水が掛からないように注意してください。故障の原因になります。

- 7** 洗浄後は水気をよく拭き取り、はずした部品を正しく取り付けてください。

◎工具類を本体内部に置き忘れないようにご注意ください。



仕 様

♡ 愛情点検

機 械 寸 法	W850×L1100×H1490 (mm)
重 量	150kg
電 動 機	三相 200V 1500W+750W インバータ付
使 用 時 間	連続
処 理 能 力	毎時 110 ～ 400kg
外 装	SUS304 ステンレス製

長年のご使用のために点検をぜひ！

この
ような
症状は
あり
ませ
んか？

ご使用中に電源コード・電源プラグが異常に熱くなる。

電源コードを曲げると通電したり、しなかったりする。

いつもより異常に音、振動が大きくなる。

その他異常、故障がある。

ご使用にならないでください。

アフターサービス

1. 保証書

保証書は必ず『お買い上げ日・販売店名』等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間はお買い上げから1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

「おかしいな？」と思ったら、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

保証期間中は ……………

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが製品に保証書（取扱説明書）を添えてご持参ください。

保証期間が過ぎているときは ……………

お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すればご使用になれる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

故障や事故防止のため停止スイッチを押し、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店にご相談ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

⚠ 安全に関するご注意

- ご使用前に【取扱説明書】をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
- 取り扱いを誤りますと火災や事故の原因となります。

※ 保証期間中であっても、次の場合は有料になりますので、ご注意ください。

- (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
- (2) お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
- (3) 火災・地震・風水害・落雷その他天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
- (4) 消耗品および消耗による故障
- (5) 清掃不足による故障

保証書

型式 スーパースライサー S F-2000S / スーパーダイサー F-2000D				
お名前	ふりがな	保証期間	1 年	お買い上げ日 年 月 日から
	ご住所		販売店	
お客様	〒□□□-□□□□ お電話	販売店	電話	

株式会社 ドリマックス

〒332-0035 埼玉県川口市西青木 3-3-9 ドリマックスビル

TEL: 048-254-1231 FAX: 048-254-1331

URL <http://www.dremax.com>

注) 製品は改良のため予告なく仕様、デザインを変更することがあります。

2021.07

検 査 証	
出荷責任者	製造責任者